

『タイポグラフィ・ハンドブック〈第2版〉』

目次

第1章：Alphabet（アルファベットを見る力と各グリフの特徴と名称）

- アルファベットの構成要素
- 日本人の視点
- カーブを見る力
- カウンターを見る力
- グリフ
- 分類法
- ハッシュタグ
- エレメントの名称
- ローマン体と変遷
- 抑揚とセリフ
- サンセリフ書体の変遷
- ターミナルのカットの角度
- ヒューマニストのあり方
- 一階建てと二階建て
- 幾何学的なモダニズム
- スーパーファミリー
- タイプデザインの最近の傾向
- スクリプト書体
- ブラックレター書体
- タイプライター書体
- ステンシル書体
- デコラティブ・スタイル

第2章：Characters（タイプデザインに関係する人々と組見本の比較）

- タイプデザインの重要人物
- 組見本
- パングラムとイソグラム
- 和文書体組見本
- 教育のための漢字制限
- 写植文字盤
- タテ組の基盤

第3章：Multilingualism（アルファベットと多言語文字との関係と可読性）

基準線 / 並び線
ハイトによる差別化
大きめに見える書体
視覚的対等化
多言語フォントのライニング
和文組版の基本
日本語グリッド
ヨコ組用かなとタテ組用かな
混植の相対的な位置
タテ組混植の相対的な位置
漢字とかなのエレメント
フトコロと大きさ
漢字の性格
かなの抑揚
和文組版の禁則
行末調整
可読性
タイポグラフィックマトリックス

第4章：Treatments（アルファベットを組むための基本的な仕組みと方法）

スケールと単位
文字のサイズ
ポイント尺
ユニットとセット幅
スペースとインテル
レタースペース
スペーシングの視覚調整
微細なスペーシング
ワードスペース
ハイフネーション
ジャスティファイド
ラギッド
センタード
行間
組幅
行送りの相互調整
字数計算チャート
アルファベットレングス
活字調整表

パラグラフ
文字の差異のつけ方
見出しの階層
大文字の扱い方

第5章：Format（本文組の基本的な考え方とページレイアウト）

貴金属比
フィボナッチ数
アスペクト比
ブックフォーマット
版面の決定
ノンブル位置の決め方
ページプロポーション
グリッドシステムの基本
グリッドの基準線に揃える方法
マルチカラム
カラムのコントラスト
本文の流れ
複合的なグリッド
カスケード・グリッドシステム
表組
罫表組

第6章：Technology（文字の発展と技術的なプラットフォームの変革）

タイムライン
活字彫刻機
自動活字鋳造植字機
写真植字
タイプライター
セレクトリックタイプライター
フォントファミリー
ビットマップフォント
文字表示と文字認識
ピクセルフォント
アウトラインフォント
テフ / メタフォント
オプティカルサイズ
ウェブフォント
マルチスクリプト・タイポグラフィ
ランダムフォント / キャプチャ

バリアブルフォント
キー配列
アスキーとキーコンビネーション

第7章：Standards（媒体の規格とふさわしいものを選ぶための知識）

国際規格のペーパーサイズ
アメリカのペーパーサイズ
日本特有の規格サイズ
海外特有の規格サイズ
国際規格の封筒サイズ
アメリカの封筒の機能
日本の封筒規格サイズ
端物印刷の規格サイズ
封筒の構造と名称
レターヘッドの折り方
C列の封筒に適した書類の折り方
郵便物宛名面の配置
C列のためのタイポグラフィ
窓つき封筒
レターヘッドのタイポグラフィ
カードのタイポグラフィ

第8章：Glossary（フォント名、フォントパブリッシャー名、タイポグラフィ用語）

ファウンドリーとフォントパブリッシャーのリスト
タイポグラフィの専門用語
フォント名リスト
ノックオフフォント